

# 『サロン活動助成事業』における留意事項

サロン助成金を申請・報告いただく際に、下記の留意事項にご注意ください。

## 《対象事業について》

おおむね65歳以上の高齢者や、障がい者を対象とした居場所づくり、介護予防、生きがいくりを目的に開催する“サロン”が「サロン助成」の対象事業です。

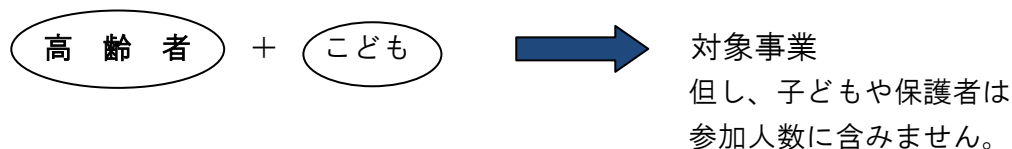
自治会や老人会等が主催の行事（夏祭り、地蔵盆、運動会、防災訓練、清掃活動など）は助成の対象事業となりません。

また、市の敬老会事業補助金を受けられている事業についても対象事業にはなりません。

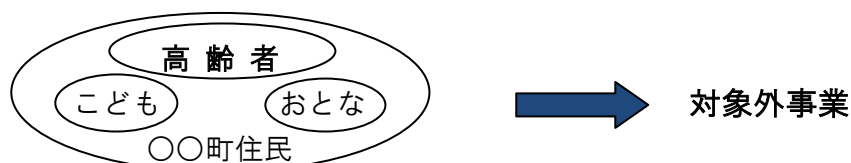
[例1：第〇回ふれあいサロン（内容：茶話会）]



[例2：第〇回いきいきサロン（内容：レクリエーションで世代間の交流）]



[例3：〇〇町夏まつり]



## 《参加者数について（活動報告書について）》

助成対象となる参加者数とは、“65歳以上の高齢者”と“障がい者”の人数です。

講師や演芸ボランティア等は含まれませんのでご注意ください。

## 《経費について》

サロン活動に係る費用が対象です。但し、アルコール類は対象外です。

また、運営スタッフの人件費についても対象外です。

## 《申請書について》

サロン名称・代表者氏名・代表者連絡先を記入の上、押印してください。

## 《年間活動計画書について》

記入例に従って、記入してください。

年額80,000円が限度額です。

実施予定回数×下記の①または②で算定してください。

① 1回あたりの参加者数が年平均で15人未満の場合は、1回6,000円です。

② 1回あたりの参加者数が年平均で15人以上の場合は、1回8,000円です。

### 《請求書（概算）について》

サロン名、代表者氏名、請求額、振込先を記入の上、押印してください。

振込先通帳コピー（表紙と表紙裏の写し）を添付してください。

### 《事業報告書について》

サロン名、代表者氏名、代表者連絡先、自治会名、開催回数、参加者総数を記入の上、押印してください。

### 《開催実績報告書について》

記入例に従って、開催ごとに、開催日時、開催場所、参加者数、参加費合計、事業費合計、内容を記入してください。

### 《領収書について》

助成金額分の領収書（レシートも可）（写し）を添付してください。

なお、助成金を備品の購入等に充当いただくことは可能ですが、領収書の添付についてはできるだけサロン運営に係る領収書の添付をお願いします。

領収書には但し書きを記入してもらってください。領収書のないものについては、支払証明書を作成し、証明者が押印してください。（別紙様式）

**\*実績に基づいて、下記の「例」のような場合、年間限度額80,000円の範囲内で調整し、返還または追金となる場合があります。**

[例1] 「1回あたりの参加者数が年平均で15人未満」で申請したが、実績で「1回あたりの参加者数が年平均で15人以上」となった

[例2] 「1回あたりの参加者数が年平均で15人以上」で申請したが、実績で「1回あたりの参加者数が年平均で15人未満」となった

[例3] 開催回数に変更（増えたまたは減った）となった

[例4] サロンそのものが実施できなくなった

★申請および報告書類の作成などにあたって、ご不明な点は社協窓口にお問い合わせください。

■ 申請様式は、東近江市社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。

<http://www.higashiomi-shakyo.or.jp>